

55・58 Farewell Days 報告

去る2月23日(土)・24日(日)、市ヶ谷55・58年館校舎解体に伴い、大学主催によるお別れ会「55・58 フェアウェル Days」が開催されました。新聞記事で知った方も多く、大勢の卒業生が記憶をたどる様々な展示の「最終講義」に見入っていました。昭和・平成と学生の思い出が詰まった学舎が静かに幕を閉じていきます。

4月から、新たに靖国神社側に建築中だった「大内山校舎」での授業が始まります。6月の総会で案内を計画していますのでご参加下さい。



【 55・58 Farewell Days の一枚 その1 】



当日のパフレット



55・58年館最後の姿 右下は教員控室と835教室があったピロティ棟



ピロティ棟下の掲示板



58年館エレベーター



【 55・58 Farewell Days の一枚 その2 】



法政大・関西大・明治大、三大学創立の時代展示



ボアソナードとその教え子達 展示



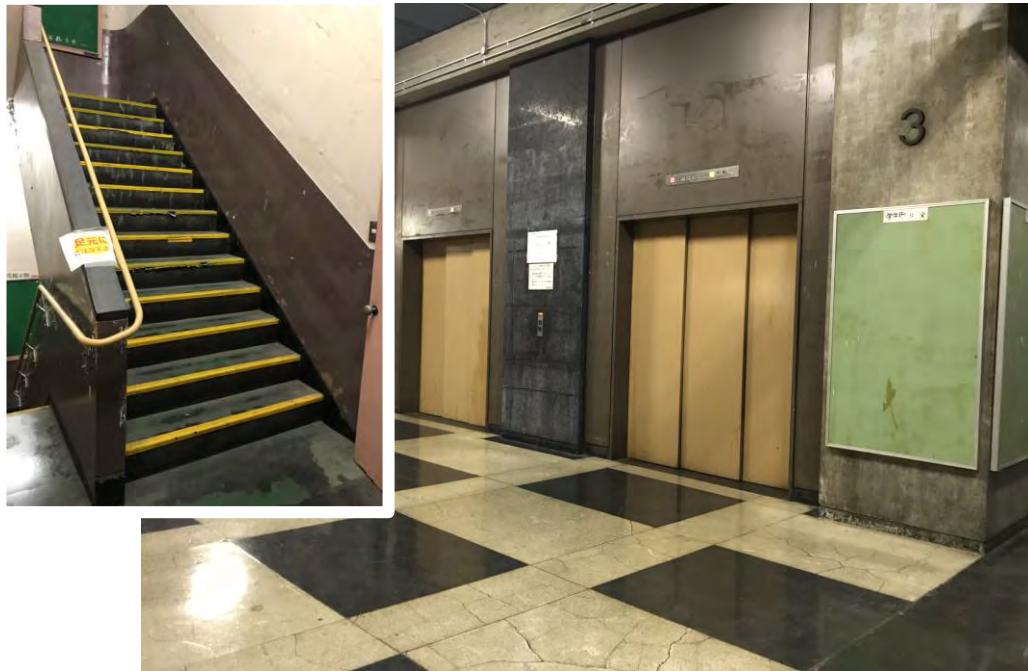
訪問者を案内する田中優子学長



懐かしのメニュー 「法政ランチ」(左)・「パクパクランチ」(右)



参加者で盛況のボアソナード・タワー下食堂



こんな階段、こんな床でした



円柱と長い廊下が特徴



3階 835 教室の 8人掛けの机



法政と言えばこのスロープ(右上) スロープ側から望む新「大内山校舎」(左)

